

詳細は、2023年度入学試験要項(7月頃本学入試情報サイト掲載予定)をご確認ください。

スケジュール

〔1次選考〕 書類選考	出願期間	9月12日(月)～9月19日(月)
	1次選考結果通知日	10月1日(土)
〔2次選考〕	出願期間	10月3日(月)～10月7日(金)
	試験日	10月22日(土)
	合格発表日	11月5日(土)

試験会場 龍谷大学 瀬田キャンパス

出願資格

応用化学課程

以下の1～5の条件をすべて満たす者。

1. 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッションポリシーを十分に理解し、応用化学課程での勉学に強い意志と熱意を持つ者。
2. 本学先端理工学部の応用化学課程を第一志望とする者。
3. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または、中等教育学校を2022年3月に卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者、または在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した者)、高等専門学校第3学年、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2022年3月に修了した者、および2023年3月修了見込みの者。
4. 次に掲げる①・②を共に満たしていること。
 - ①「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」のうち、「化学基礎」を含む3科目を履修し、かつ、「化学」を履修している者。
 - ②普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの「数列」、「ベクトル」を履修していること。普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aを履修していること。
5. 次に掲げる①・②のいずれかを満たしていること。
 - ①高等学校もしくは、中等教育学校後期3年1学期までの全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.3以上であること。
 - ②「化学」の学習成績の状況が4.0以上であること。

環境生態工学課程

以下の1～5の条件をすべて満たす者。

1. 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッションポリシーを十分に理解し、「環境問題の解決」に向けて強い意志と熱意を持つ者。
2. 本学先端理工学部の環境生態工学課程を第一志望とする者。
3. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または、中等教育学校を2022年3月に卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者、または在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した者)、高等専門学校第3学年、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2022年3月に修了した者、および2023年3月修了見込みの者。
4. 次に掲げる①・②を共に満たしていること。
 - ①「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」のうち、3科目を履修し、かつ、「生物」、「化学」、「物理」、「地学」のいずれか1科目以上を履修している者。
 - ②普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの「数列」、「ベクトル」を履修していること。普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aを履修していること。
5. 次に掲げる①・②・③のいずれかを満たしていること。
 - ①高等学校もしくは、中等教育学校後期3年1学期までの全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.3以上であること。
 - ②「生物」、「化学」、「物理」、「地学」のいずれか1科目の学習成績の状況が4.0以上であること。
 - ③在学中に本課程の学びに関連した取り組みのある者。
〔該当者の例〕
 - 個人またはグループ(たとえば科学部・生物部などに所属、あるいは学内外における個人の活動を含む)で環境あるいは、生物の調査や観察、それらの保全や保護活動・発表会への参加などの活動がある者。
 - 講演会等で自然や生物に関する学びの経験がある者。
 - 在学中の学業において、環境問題等と関連付けた学びの経験がある者。

提出書類

- ・自己推薦書
- ・調査書

試験内容

応用化学課程

1次選考：自己推薦書・調査書を評価

例) 高校在学中に特に力を入れたこととその成果、また入学後に応用化学課程で学びたいことについて等。

2次選考：プレゼンテーション・個人面接(口頭試問含む)

教科書にある化学の実験について何か一つを選び、目的、方法、結果、考察を要領よくまとめ発表していただきます。※約10分(質疑応答を含む)。

- 発表の方法はPCを用いたスライド投影、ポスター掲示、印刷したA4資料のいずれかを選択できます。
- 事前に用意した内容だけでなく、柔軟な受け答えや真摯な対応も評価します。
- 個人面接(約10分)では、志望動機について伺います。また、口頭試問として、社会における化学や応用化学の役割に対する関心の高さや理解の程度、自分なりの考えの具体性などについて評価します。

環境生態工学課程

1次選考：自己推薦書・調査書を評価

例) 入学後に学びたいことのアピール、もしくは、在学中の環境や生物に関する取り組みについて等。

2次選考：プレゼンテーション・個人面接(口頭試問含む)

在学中におこなった本課程の学びに関連した取り組みについて発表していただきます。※約10分(質疑応答を含む)。

- 発表の方法はPCを用いたスライド投影、ポスター掲示、印刷したA4資料のいずれかを選択できます。
- 事前に用意した内容だけでなく、柔軟な受け答えや真摯な対応も評価します。
- 個人面接(約10分)では、志望動機について伺います。また、口頭試問として、環境問題等に対する関心の高さや理解の程度、自分なりの考えの具体性などについて評価します。

合否判定

自己推薦書、プレゼンテーション、個人面接を総合して合否判定します。

募集人員

応用化学課程：10名 環境生態工学課程：10名

受験料

1次選考：15,000円 2次選考：20,000円